

令和4年度 事業計画書

(2022年4月1日～2023年3月31日)



たのしい! だいすき! ほいくえん

社会福祉法人 ひづみ保育園

令和4年度 ひづみ保育園 事業計画書

1. 基本方針

- 法人理念 現在を耕し、肥沃な土壌と愛情の涵養で内なる自然のいのちを紡ぎ合う
- 保育理念 自然の中で ひつつきもつつき 子どものいのちを 強くする

昭和38年4月1日、日積幼稚園を、地域の人々の要望により、ひづみ保育園として開園する。当時の園舎は、旧小学校校舎の2棟を移築したもの。昭和38年7月30日に、社会福祉法人ひづみ保育園の設立の認可を受ける。

自然豊かな保育園。広い園庭があり、プランターや花壇、道を挟んだ畑では、野菜や花を育てている。穏やかな日差しが降り注ぐ日には、外で昼食を摂ることもしばしば。夏には思い切りプール遊びを楽しんでいる。

当法人の保育理念を踏まえ、戸外活動を積極的に行っている。恵まれた自然環境や文化環境を最大限に活用し、『人を信頼する心・誠実に接する姿・自ら創造していく力』の、3つの柱を中心に、遊びを通して五感を働かせながら自分自身の可能性を発見し、育ち、成長していく自立(自律)した子どもを育てていくことをめざしている。

朝9時には外に集まり、体操やマラソン(夏場は除く)で、健康な体作りを目指している。毎日継続して行うことで、子ども達が一日の生活の見通しを持つことや、体を集団生活モードにスイッチすることに大いに役立っており、登園時間も『必ず登園しておきたい時間』として保護者に意識付けられている。

また、地域交流を重んじ、経験を大切にしている。そのような経験の中で、「人が好き」「話すことが好き」「話を聴くことが好き」な、愛溢れる子ども達を育てていきたい。たくさんの経験や学びの中で、知識だけでなく、知っている事、できる事をいかに生かしていくかを知り、社会に役立つコミュニケーション能力を育てたい。保育者は、様々な保育を通じて、子ども達と一緒に遊びを考え、仲間との遊びを通じた人間関係を構築する。また同時に、保育者も人として成長できる保育を心掛け、保護者との信頼関係をベースに、子ども達の育成を共に考え、共に頑張り、共に喜び、共に暮らし、共に育む保育園として、地域に根ざしていくよう努力する。

幼児期の体験は、子ども達が成長していく時の精神的基盤となる。

〈1〉 『継続保育』の重要性と、保育士と協働しあう保育

- 保育士、栄養士等の専門的知識、技術を学び合い、職員全員が共通理解し、協働性を高めながら保育にあたる。
- 全職員が共通意識のもと、連携して保育を行なう。
- 「保育を語ろう」…保育の継続性、積み重ねの重要性を職員側が常に意識し、その効果を語り合い続ける。子ども達の変化を、個々に、年齢毎に比べ、職員間で語り合うことにより、様々な眼で子ども達の姿をとらえ、検証していく。
- 保護者に対し、保育士等の専門性を活かした活動内容を伝える。(ICTの活用、保育ドキュメンテーションを取り入れる)

〈2〉 保育内容の充実・質の向上

- 保育園組織、保育園職員の自己評価と振り返り
- 職員会議、各リーダー会議、園内研修、個別研修計画、研修報告会議
- 毎月の振り返りを通してながら目標に向かって継続的に進めていく保育。

- ・ 継続することを大切に考え、職員のやる気向上の取り組みを行い、保育士等の協働性を高める。
- ・ 30分保育の実施（園の特色ある取り組み）
- ・ 保育現場の撮影による、保育の振り返りや検証を行なう。
- ・ 資格取得のための積極的推奨
- ・ 保育園独自のキャリアプランにより、保育協会、市や県の研修、外部委託研修を、年間を通して導入し、それぞれのセクションにおいて特化した研修を受ける。勤務状態を問わず、専門性を高めることを奨励する。

〈3〉 保育園を利用する園児の保護者に対する支援

- ・ 保護者同士が交流できる場の設置（はぐくみ会総会（保護者会）年1回、親子遠足、その他、行事後のフリータイム設定）
- ・ 登降園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認
- ・ 子どもの育ちに応じて特徴的なことや気づきを、保護者に伝える
- ・ 園だより、給食だより、献立表（アレルギーを含む）、なかよし、クラスだより、トライアングル、その他トピックスとして掲げているテーマでの通信（今年は、『うんどうのひろば』）発行
- ・ 連絡帳の記入（一日の様子や、具体的に保育者が感動した体験などを伝える）
- ・ 保護者個人懇談の実施（本年度は6,10,2月頃に計3回、希望者及び必要に応じて実施予定）
- ・ 個人情報の保護
- ・ 感染症等の問題が生じた場合は、多様な専門機関にご協力を仰ぎ、保育者等と保護者が共通意識を持って対応する
- ・ 子育てや就労等の個々の事情に配慮し、子どものための最善の利益を考える

〈4〉 地域の子育て支援事業

- ・ 一時保育の実施
- ・ 保育園から継続した環境での児童クラブの設置
- ・ 絵本の貸し出し
- ・ 地域子育て支援に関する情報の提供
- ・ 保育園行事への招待
- ・ 園庭解放（月～金 10:00～15:00）
- ・ 地域行事に参加し、保育情報の提供
- ・ 『まちかどネウボラ』としての、支援センター『トライアングル』の開設
- ・ 民生児童委員主催『子育てサロン』のバックアップ 及び情報交換・連携

〈5〉 次世代を担う保育士等の育成

- ・ 保育養成校からの、実習生の受け入れ
- ・ 地域の小中高生の職場体験学習や、ボランティアの受け入れ
- ・ 他職種の保育体験事業の受け入れ
- ・ 養成機関との連携、研究協力（令和4年度：周南公立大学の竹下徹先生 「保護者の子育て不安の軽減、解消にむけ、保育所が地域の関係機関に支援をとおく際の促進・阻

害は何かなどをつきとめ、子育て支援が有効に機能するための実践モデルを開発する」という研究内容 協力)

- ・ 養成校との共通研修会 (令和 4 年度より、計画)

〈6〉 食育の推進

- ・ 年間目標や、計画の立案 (食事指導、クッキング、そしゃくの日、いのちの日)
- ・ バケツ稲づくり、菜園栽培、果樹栽培、自然循環の学習
- ・ 味噌作り、乾物作り、加工品作り (梅ジュース、梅干し)
- ・ 近所の農家での収穫体験
- ・ 野菜や花苗などの生長の学習

〈7〉 PDCA の確立

- ・ 行事の取り組み方への見直し
- ・ リスクマネジメントの充実 (ヒヤリハットの有効活用) 及び危機管理への対応
- ・ 保育の中で捉えた子どもの姿、人との関連性、活動の発展、疑問や発見、感動など実態をより深く見つめられる記録の作成
- ・ 自己評価による個々の保育の振り返り

〈8〉 年齢や季節に応じた保育環境の整備

- ・ 適切な年齢に、適切なおもちゃや表現用品を与える。 また、それに対する学習
- ・ 季節感を自然と感じられる保育環境や保育内容の整備

〈9〉 職員の働き方をデザインする 生涯働ける、魅力ある職場づくり

- ・ 面白さ、やりがいを根底に、個々のモチベーションを上げていくことで、最終的に保育の質の向上に結び付ける。 好循環を目指す
- ・ 理想 (養成校での学び) と、現実のギャップを埋める
- ・ ライフデザインシートを活用し、働き方と日々の生活とのマッチングを図る
- ・ 階層的リーダーシップから、分散型・協働的リーダーシップへ

2. 園児利用定員 30 名

| 0 歳児 | 1,2 歳児 | 3 歳児 | 4,5 歳児 | 児童クラブ |
|------|--------|------|--------|-------|
| 1 人 | 7 人 | 4 人 | 18 人 | 20 人 |

3. 保育,教育を提供する日と時間

| | 平日 (月~金曜日) | 土曜日 |
|-----------------------|-------------|-------------|
| 開園時間 | 7:00~19:00 | 7:00~18:00 |
| 保育標準時間認定に係る時間 (11 時間) | 7:00~18:00 | 7:00~18:00 |
| 保育標準時間認定に係る延長保育時間 | 18:00~19:00 | - |
| 保育短時間認定に係る時間 (8 時間) | 8:30~16:30 | 8:30~16:30 |
| 保育短時間認定に係る延長保育時間 | 16:30~19:00 | 16:30~18:00 |
| 一時預かり保育 | 8:30~16:30 | 8:30~16:30 |

4. 職員構成

| | 保育士資格 | その他資格 | キャリアアップ研修 (since2017.04~) | | | | | | | その他の資格等 | | | |
|--|-------|-------|---------------------------|------|-------|----------|-----------|-------------|--------|-----------------|---------|-----|-------------------------------------|
| | | | 乳児保育 | 幼児教育 | 障害児保育 | アレルギー・食育 | 保健衛生・安全対策 | 子育て支援・保護者支援 | マネジメント | 山口県放課後児童支援員認定資格 | 幼稚園教諭免許 | その他 | |
| 施設長 西山 忍 | ● | 衛生推進者 | | ● | | | | | ● | | | 2級 | 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員コース) |
| 主任保育士 弘末 小百合 | ● | | | ● | | | | | ● | ● | | 2級 | |
| 副主任保育士 たけ組 まつ組 3歳以上児リーダー 柴原 千春 | ● | 衛生推進者 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | 2級 | カラーセラピスト |
| はな組2 うめ組 中原 有里 | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | 2級 | |
| はな組0,1 乳児保育主任兼 3歳未満児リーダー 中山 美都子 | ● | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | 2級 | |
| はな組2 うめ組 大野 真衣香 | ● | | ● | ● | | ● | ● | ● | | | | 2級 | |
| たけ組 まつ組 由良 愛美 | ● | | | ● | | | | ● | | | | 2級 | |
| 障害児担当 野上 満喜子 | ● | | ● | | ● | | | | | ● | | 2級 | |
| 栄養士 食育主任 田中 智子 | | 栄養士 | | | | ● | ● | | | | | | 食育アドバイザー 上級食育アドバイザー 食育実践プランナー |
| 森川 真理子 | ● | | | | | | | | | ● | | 2級 | |
| 村山 和子 | ● | | | | | | | | | ● | | 2級 | |
| 支援センター指導員 石田 くみ子 | ● | | | | ● | | | ● | | | | 2級 | |
| 沖原 貴江 | ● | | | | | | | | | ● | | 2級 | |
| 西見 奈緒美 | ● | | | | | | | | | | | 2級 | |
| はな組0,1 鍵山 登志恵 | ● | | | | | | | | | ● | | 2級 | |
| 原田 美紀 | ● | | | | | | | | | | | 2級 | |
| 立畠 政子 | ● | | | | | | | | | ● | | 2級 | |
| 保育補助 支援センター指導員 廣中 千春 | | 歯科衛生士 | | | | | | | | | | | 子育て支援員研修 修了 |
| 調理員 岩井 芳枝 | | 調理師 | | | | | | | | | | | |
| 保育補助 西山 祐土 | | | | | | | | | | | | | |

令和4年5月28日現在

5. 職員配置

| クラス名 | 当初職員数 |
|--|-------|
| 園長 | 1名 |
| 主任保育士 (Free、保育総括責任者) | 1名 |
| 副主任保育士 (3歳以上児保育専門リーダー) たけ組 (4歳児)、まつ組 (5歳児)担当 | 1名 |
| はな組 (0,1歳児、乳児保育主任 ; 3歳未満児保育専門リーダー) | 2名 |
| はな組 (2歳児) うめ組(3歳児) (職務分野別リーダー ; おとあそび、うんどう) | 2名 |
| はな組 (2歳児) うめ組(3歳児) 担当 (職務分野別リーダー ;自然) | 1名 |
| 障害児担当 | 1名 |
| 支援センター指導員 (歯科衛生士 1名) | 2名 |
| 非常勤保育士 | 6名 |
| 栄養士 (食育主任) | 1名 |
| 非常勤調理員 | 1名 |
| 保育補助員 | 2名 |
| 嘱託内科医 | 1名 |
| 嘱託歯科医 | 1名 |
| 計 | 23名 |

6. 運営方針

〈1〉 運営管理を円滑に行うために、以下の会議を勤務時間内にて開催

| 会議名称 | 回数 | 主な内容 |
|-------------------------|--------------|---|
| 職員会議 リーダー会議 | 月1回以上 60分 | 保育計画の確認、子どもの姿、クラス報告、保育計画の確認と振り返り、伝達、自己評価、乳幼児の喫食状況の把握、食育の目標について、感染症対策、衛生管理、事務連絡等 |
| ケース会議 (職員会議との兼務もあり) | 随時 | 気になる子どもの情報共有 |
| 研修報告会議 (職員会議との兼務もあり) | 随時 | 研修報告、発表等 |

〈2〉 各種係を設置し、職員全員が参加して運営

| 係名 | 職務内容と役割 |
|---------------------|---|
| 防火管理者 | 消防計画を作成し、それに基づき消火・通報及び避難の訓練を定期的に実施、消防署等への連絡係 |
| 食品衛生管理係 | 給食食材および提供食材の衛生管理と在庫状況の管理 |
| 交通・安全・衛生 (行事に沿う) | 活動の啓蒙、保育活動への取り組みにおけるイニシアチブをとる 保護者への啓蒙 施設の清掃と衛生管理、衛生管理に係る消耗品および備品の管理、感染症予防対策の管理点検 |
| 誕生会担当 | 会主体の進行、出し物の担当 |
| 朝礼担当 | 会全体の進行、喫緊の保育課題より目標を選出し、実現に向けての道筋をつける |
| 絵本担当 | 年齢や季節を考慮し、適宜適切な絵本を、各保育室や昇降口前のお薦め本コーナー、図書コーナーに整備する お話しの日の朗読担当 |
| 安全指導担当 | 安全計画の整備、確認、見直し 安全の日の会全体の進行 園内の施設設備の安全点検実施 |
| 美化環境整備 飼育担当 | 畑の管理、年間計画作成、植木、園庭状態の管理・把握、道具類の維持補充、乳幼児や職員の畑活動の把握や課題検討におけるイニシアチブをとる 飼育動物の健康管理、動物小屋の維持管理、乳幼児や職員の生き物飼育活動の把握や課題検討におけるイニシアチブを取る 園内外の環境整備状況の管理 備品の点検と補充 |
| 人権担当 | 人権チェック、個人情報管理や職員への啓蒙 園や園の保護者に対する諸課題の把握や調整、パイプ役 |

〈3〉 対外的な係の設置

| 係名 | 職務内容と役割 |
|----------------------|--------------------------------------|
| 柳井市要保護児童担当 | 該当する諸問題のケース会議への出席、諸機関との連絡役 |
| 人権担当主任 | 人権についての研修受講、復命、園内研修の立案 |
| 柳井市交通主任 | 交通会議への出席、交通フェスタの開催 |
| 柳井市幼保・小連携担当 | スタートカリキュラムの作成、連携の推進 |
| 柳井市子育て支援センター 一連絡係 | 子育て支援センターに関する情報の共有、共同で行う行事への協力 |
| 日積ふれあい運動会実行 委員 | 日積ふれあい運動会に係る会議への出席、運営、諸課題への対応、地域への伝達 |

7. 保育方針

〈1〉 基本方針

遊びを中心に、子ども達が自発的に活動し、健康で意欲を持った明るい子どもを育む

- ✿ 遊育…遊びや自然の中で育つ 活発に遊び、自然と触れ合い季節の変化などを体で感じ、健康で十分な体力や自立心、やる気を育む。
- ✿ 食育…命を見つめながら育つ 栽培体験等を通し「作る楽しみ」「食べる楽しみ」と「楽しく」食に関わることで心も体も健やかに養う。
- ✿ 知育…聴き、不思議に感じ、伝え合って育つ 異年齢と関わり、コミュニケーションし、様々な保育体験を通じ物事を知り、考え、判断する力を育む。
- ✿ 共育…家庭や地域と共に育つ 人とのかかわりを大切に、豊かな人間性を持ち、信頼感とやさしさ(愛)のある子どもを育む。

〈2〉 目指す子ども像

- ✿ 基本的な生活習慣の自立を主とし、清潔で、健康的な生活を送る。
- ✿ 自然の移り変わりや動植物との関わり合いの中で、自然の美しさに気付く感性や、生き物に対する慈しみの心を育てていく。
- ✿ 同年齢や異年齢児との関わりを大切にしながら、お互いいたわり合い、高め合う心を意識化する。
- ✿ 木や布等のぬくもりのあるおもちゃ、よい絵本等、質の高い物と関わることで、物を大切にし、感性を高めていく。
- ✿ 楽しく聴き、正しい言葉で話し、素直な心を育てていく。

〈3〉 当園の保育テーマ（経年）

たのしい! だいすき! ほいくえん

〈4〉 本年度の保育テーマ

一緒にチャレンジ! ~ みんなのいいところを見つけよう ~

人は誰でもよいところを持っています。優しいところ、真面目なところ、明るいところ、前向きなところ…。子どものことをよく見ていけば、どんな些細なことでも必ずよいところが見つかります。良いところを、「ありがとう」「助かったよ」「すごいね」などと認めたり褒めたりしてもらうことは、とても嬉しいものです。大人も子どもも、そんな気持ちを伝え合える環境でありたいと思います。その嬉しさは子どもの心の栄養となり、『やってみよう』『自分でできるかも!』という探求心や行動力の源になります。私たちは、子どもたちが意欲的に生活し、様々な活動や遊びに挑戦していけるよう見守りながら、背中を後押しし援助していきたいと思っています。

各クラスの今年度のチャレンジ目標を決めました。はな組0・1歳児さんは『探索活動にチャレンジし、いっぱい遊びます』、はな組2歳児さんは『体をしっかり動かしてお腹をすかせ、たくさん食べます』。3歳児さんは『友だちや保育士と一緒にいっぱい遊びます』。4歳児さんは『自分らしさを発揮しながら、友だちと折り合いをつけて遊びます』。5歳児さんは『いろいろな絵を描くことに、チャレンジします』。

今年はみんなのいいところをいっぱいみつけて、子ども達の『やってみよう』『やりたい』を大切にしながら、様々なことを一緒にチャレンジしてみたいと思います。

〈5〉 給食・食育運営方針

- 離乳食、幼児食の提供
- 子どもが楽しく落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りメニュー、味付けの工夫
- 給与栄養素の目標の設定
- 子どもの発達や体調（食物アレルギーを含む）、文化の違いに応じた食事の提供
- クッキング保育や食事指導、菜園での野菜作りなどを通して『作る楽しみ』『食べる楽しみ』と、楽しく食に関わる事を大切にする 分かち合う事の素晴らしさや、いのちの大切さを感じられる工夫 感謝の心の芽生え
- 保護者、地域に、食育に関する取り組みを伝える
- 日常生活や地域に密着した食育を、深く考察し、実践する
- 1年を通して、保育室や戸外で気持ちよく食べる。何より大切な事は楽しく食べること。保育者等や友達と一緒に楽しく会話をしながら食べる。

保 育 目 標

| | |
|-----|---|
| 0歳児 | <ul style="list-style-type: none">衛生的で安全な環境の中で生活リズムを整え、生命保持及び情緒の安定を図る。愛情あふれる心地よい環境の中で、健やかに伸び伸びと育つそれぞれの要求を受け止めてもらい、保育者との温かいかわりの中で感情を表し、心を育てる。離乳完了と歩行の開始に向けて保育を進め、健やかに成長する。愛着行動から信頼関係を育み、他者との関わりを広げる。様々な形や感触、色、音が出るものに触れ、五感を豊かにする。 |
| 1歳児 | <ul style="list-style-type: none">保健的で安全な環境の中、欲求を丁寧に受け止めてもらい、生命の保持と情緒の安定を図る。保育者との関わりの中で、安心してのびのびと生活しながら、体を動かす事を楽しむ。安心できる保育者との応答的な関わりの中で信頼関係を深め、他児にも関心を広げる。探索活動を通じ聞く、見る、触れるなどの体験をし、興味や好奇心、探求心を育む。 |
| 2歳児 | <ul style="list-style-type: none">工夫された環境の中で、運動機能が発達する。保育士や友だちと関わる楽しさが分かり、人と関わる力や自立心を育む。模倣活動、言語活動を通し、表現活動の芽生えが育まれる。感じた事、考えた事を自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。基本的な生活習慣を身につけ、社会性の初歩を経験する。 |
| 3歳児 | <ul style="list-style-type: none">基本的な生活習慣を身につけ、喜びながら自信を持って意欲的に生活する。保育士や友だちと、のびのびと体を使い、様々な遊びや活動を楽しむ。経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の言葉を聞こうとする意欲や態度を育てる。のびのびと自己表現し、大好きな仲間と遊びを十分に楽しみ関係を深める。たっぷり遊び、丈夫な体と豊かな心を育てる。 |
| 4歳児 | <ul style="list-style-type: none">いろいろな経験を通じて日常生活に必要な生活習慣、態度、言葉を身につける。身のまわりの人や出来事、自然の変化に興味や関心を持ち、情緒や感性を育む。見たり聞いたりしてイメージを膨らませ、感じたこと、思ったこと、想像したことなどを表現する。 |
| 5歳児 | <ul style="list-style-type: none">健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。園生活を楽しみ、いろいろな遊びを活発に行うと共に、就学に向けて基本的な生活や態度を身につける。運動や休息、食生活の充実を通じて健康増進を図る。遊びの中で、他者と協力して目標を達成することの喜びを感じ、自己肯定感や自信につなげる。園生活を楽しみ、いろいろな遊びを活発に行なうとともに、就学に向けて基本的な生活や態度を身につける。自然や身近な事象に興味や関心を持ち、遊びや活動を通して豊かな心情や知的好奇心を高める。人と話すことを楽しみ、言葉を使って表現する意欲や態度を身につける。 |

〈6〉 年間行事計画（令和3年度参照）

| | | | |
|----|---|-----|---|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 保育開始 お花見給食 ♥ 入園式 ピクニック給食 ♥ はぐくみ会総会 ♥ 437 鯉のぼり掲揚 | 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ ピクニック給食 ♥ 親子遠足 ♥ 消火避難訓練 ♥ 体力測定 ♥ 就学児健康診断 ♥ カレーパーティー ♥ 緑風荘慰問 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 子どもの日 鯉のぼり持ち帰り ♥ 徒歩遠足 in 大里公園周辺 ♥ 嘱託医第1回内科健康診断 ♥ 緑風荘慰問 ♥ 母の日プレゼント持ち帰り ♥ 体力測定 ♥ 中学校職場体験 | 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ ピクニック給食 ♥ 緊急地震速報訓練に合わせたシェイクアウト訓練、引渡し訓練 ♥ 芋掘り ♥ 歯磨き指導 ♥ 嘱託医第2回内科健康診断 ♥ 年長児勤労感謝プレゼント渡し ♥ お遊戯会 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 時の記念日時計持ち帰り ♥ 父の日プレゼント持ち帰り ♥ 嘱託医第1回歯科検診 ♥ 年長児金魚ちょうちん絵手紙教室 | 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 年長児日積ふるさと祭り参加 ♥ 日積小学校低学年「おもちゃまつり」年長、年中児参加 ♥ 手作り年賀状投函 ♥ クリスマス会 ♥ 大掃除 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 437 七夕飾り付け ♥ 全園児午睡開始 ♥ 七夕の集い ♥ 劇団 観劇会 ♥ 防犯訓練 ♥ そうめん流し ♥ プール・水遊び開始 | 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 七草摘み ♥ 三世代交流会 ♥ かるた大会 ♥ 嘱託医第2回歯科検診 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 水あそび会 ♥ 特別支援教育地域コーディネーター等の巡回訪問 ♥ 実習生受け入れ ♥ お祭りごっこ | 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 節分会、凧揚げ大会 ♥ 就学児一日入学 ♥ 防犯訓練 ♥ なわとび大会 ♥ 437 ひなまつり出展 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ 十五夜お団子作り ♥ 年中、年長児午睡終了 ♥ 日積地区触れ合い運動会 ♥ 中学校職場体験 ♥ 年長児日積地区敬老会参加 | 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ♥ ひなまつり会 ♥ お店屋さんごっこ ♥ お別れ徒歩遠足 ♥ お別れ会 ♥ 卒園式 |

保育参加(随時)・保護者面談(年3回/希望者) 開催

〈7〉 保健計画

| | |
|--------------------|---|
| 健康診断 | 年2回（5月・11月） |
| 歯科検診 | 年2回（6月・1月） |
| 保健あんぜんだより | 月1回発行 |
| 職員健康診断 | 年1回 |
| 職員検便 | 給食担当、乳児担当、クッキング担当、支援センター職員 月1回（第1火曜日） 全職員 年1回（6月） |
| 園児への保健指導・取組等 | 手洗い、うがいの指導、体のしくみ、歯磨き指導 |
| 流行が予測される感染症 | 新型コロナウイルス感染症 6月頃…夏病（ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、溶連菌感染症、手足口病、とびひ） 11月頃…インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎 |
| 発作・痙攣等の対応のための薬の預かり | 本年度該当者なし |
| エピペン | 園児 該当者なし（所持の可否、現在主治医と検討中） 児童クラブ 2名該当者あり |
| その他保健に関する取り組み | ポラリエットの使用講習受講、効果的な使用 感染症予防のため、保育室内外の衛生管理に努める 予防接種の啓蒙と未接種者状況の確認 昼の全園児検温 日々の子どもの健康状態（健康調査票記入）や近隣施設、 地域での感染症流行状況を把握し、感染症拡大防止のための 情報発信 |

〈8〉 各種点検

| | | |
|------|-----------------|------------------|
| 危機管理 | 設備点検チェック | 月1回 初日 |
| | 防災自主点検（備蓄品点検含む） | 年2回 |
| | 避難訓練 / 消火避難訓練 | 毎月1回・25日 / 10月予定 |
| | 不審者侵入訓練 | 年2回 / 7月・1月 |
| 衛生管理 | 衛生管理点検表 / 毎日 | 毎日 |
| | 衛生管理点検表 / 毎月 | 毎月25日 |
| | 個人体温チェック | 毎日出勤前に検温、報告 |
| | 個人衛生点検 / 毎日 | 毎日業務開始前 |
| | 検便・細菌検査 | 毎月1回 / 第1火曜日 |
| 健康管理 | 予防接種状況・既往歴の確認 | 年1回 / 4月 |
| | 身長体重測定 | 毎月1回 / 20日 |
| | 健康診断 | 年2回 / 5・11月 |
| | 歯科検診 | 年2回 / 6・1月 |
| 運営管理 | 保護者アンケート調査 | 各行事終了後 |
| | 保護者園評価 | 年2回 / 7月、1月 |
| | 職員園評価及び自己評価 | 年2回 / 7月、1月 |

〈9〉 環境整備

子ども自らが環境に関わり、自発的に活動し、様々な経験を積んでいくことができる環境づくりを目指す 継続的な点検・整備・改善

- ・ 温かく、親しみを持てる保育室づくり。くつろぎの場とともに、生き生きと活動できる場
- ・ 保健的環境や安全の確保に努める
- ・ コミュニケーション能力を育てるために、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わって
いくことができる環境づくり
- ・ じっくり集中して遊ぶコーナー、やる気を応援する環境

8. 危機管理（防災・防犯・ケガ事故防止 等）

✦ 近隣の緊急連絡先

| | |
|--------|---|
| 警察署 | 柳井警察署 TEL 0820 (23) 0110 |
| 消防署 | 柳井地区広域柳井消防署東出張所 TEL 0820 (45) 2911 |
| 防火管理者 | 西山 忍 |
| 消防計画届出 | 平成 15 年 2 月 14 日 |
| 避難訓練 | 火災及び水害、地震を想定した訓練を月 1 回実施 |
| 防災設備 | 消火器、自動火災探知機、誘導灯、ガス漏れ報知器、非常灯、その他 カーテン・敷物・建具等の防災処理、AED システム |
| 防犯設備 | 非常通報システム |
| 避難場所 | 第 1 避難場所：文殊様、西善寺 第 2 避難場所：日積小学校、ふれあいどころ 437 |

✦ 非常災害時の対策

非常災害に関する具体的な計画を立て、防火管理者を定めている。

非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを定期的に職員に周知するとともに、毎月 1 回以上避難及び消火、救出その他必要な訓練を実施している。

9. 養成校実習生、小中高生や社会人の保育体験、ボランティアの受け入れ

- ・ 次世代育成の観点から積極的に受け入れを行い、実習生や生徒、保育体験者一人一人の様子に合わせて具体的な援助・指導を行なう。
- ・ 衛生管理に気を付け、実習前 2 週間の行動記録、実習当朝の検温記録を報告させる。
- ・ 保育実習体験からの学び（協働）を、学生と保育者が相互に対話を重ね、確認する。
- ・ 保育者は、実習指導を担うことでリーダーとしての力を得、キャリアアップする。

10. 職員育成と研修計画

- ・ 「ひづみ保育園 年間計画 BOOK」を作成し、各人配布

11. 地域交流計画

地域社会と連携し、保育が展開されるよう配慮していく。多様な年齢層と交流する中、人との繋がりを大切にしていく。

『自分の言葉で自分の気持ちが言え、人の話を楽しみ、人が大好きな子ども』を育成

- ・ 年配者を大切にする優しい心を育てる（介護施設訪問、敬老の日参加）
- ・ 地域活動などに積極的に参加し、自分で考え、挑戦する勇気を育む（ふれあいどころ 437 行事参加、ふるさとまつり参加、三世代交流参加 等）
- ・ 小中高育児体験受け入れ
- ・ 一時保育
- ・ 支援センターの設置、行事等や園庭を共有しての交流
- ・ 児童クラブ利用児との交流

12. 小学校との連携の計画

- ・ 保育園保育要録の送付 送付時に面談機会を設ける
- ・ 定期的な情報交換の場の設置
- ・ 小学校見学 校庭や体育館で一緒に遊ぶ
- ・ 小学校行事、ふれあい運動会への参加 保育園活動として、また職員の参観日訪問
今年度、積極的連携の切り口として、保健について検討し合う予定
- ・ 市内の保育園、幼稚園、小学校職員が連携し、連絡協議会を実施、参加

保育園で積み重ねられた子どもの育ちを、小学校での生活や学びに繋げていくことが重要だと考える。

13. 要支援児計画

【個別支援計画の作成・見直し】

必要に応じて個別計画を作成する。（健康面、行動、感覚、姿勢、運動、聞こえ、言葉、コミュニケーション、保護者や他の子どもとの関わりなど）

【ケース会議の開催】

現場の要望や必要に応じて、主任保育士が召喚する。開催予定参加者：職員名予定個別計画の見直しと今後の支援についての話し合い。（月1回）

【進級等引き継ぎ、及び小学校への引き継ぎ】

- ・ 学校公開や連絡協議会、小学校との連携の機会を利用する。
- ・ 保育園保育要録を提出
- ・ 乳幼児の発達を支援する諸関係機関が担っている役割を通じ、共通課題について検討し、情報交換を行いながら協力関係を築いていく。
- ・ 諸関係機関の機能を有効に生かし、子どもが健やかに成長すること、保護者が安心して子育てできることを目指す。

14. 子育て支援事業（トライアングル）

来園された親子には、都度署名をもらい、年度末、年間延来園者数を市に報告する。

| | | |
|------------------|-----|--|
| 園施設・園庭開放 | 月～金 | 10:00～15:00 |
| 園行事体験 | 年間 | 随時 観劇(共催)、運動会、親子クッキング、お店屋さんごっこ、餅つき会 等 地区人材を活かした活動への取り組み |
| 育児等相談 | 月～金 | 随時受付 |
| 保健師又は看護師等による保健相談 | 年2回 | 6月、2月 |
| ママ友サークル『女子会』 | 月1回 | 第2水曜日 |
| 育児講座・講演会 | 年1回 | 2月 |
| 通信：トライアングル | 月1回 | 15日頃発行 |

15. 業務の質の評価について

保育園の自己評価

実施方法：保育士等の自己評価、職員による園評価、保護者評価は、年2回以上実施結果に基づき、職員会において全員での振り返り、個人面談の実施
課題を絞っての、自己評価の実施
行事等終了後による、利用者の評価、意向調査

公表方法：園発行の保育通信等に掲載

16. ひづみ保育園3か年計画の具体化

- 働き方改革に伴う有休休暇5日以上の確実な取得や休憩時間の確保、ノンコンタクトタイム（事務労働時間）の確保等を目指す。仕事に誇りを持ち、生き生きと勤務し、離職率減を目指す。また離職内容についても目を向けていく。
- ひづみ保育園版 キャリアパスの構築
- 衛生管理専門担当の職員の配置
- 事務職員の確保
- 出産介護等に係る離職をなくすため、時短労働や事由に伴う休暇の取りやすい環境づくり、仕組みの導入を目指す。
- 職員の確保
- 職員間の連携、勤務する上でのパートナーシップや信頼関係の構築、キャリアアップに伴う専門性の深化を喜び合い、仕事に対するモチベーションを上げるよう努める。
- 研修機会の均等
- 職員ワークショップによる『全体的な計画』『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』の検討、『保育方針』『保育目標』の精査、見直しを行なう。
- 子どもが育っていく環境構成に着目し、主体的に遊び込める良い環境とはどのようなものか、再考する。まず熟考された環境構成があり（学びの場の提供）、適時適宜保育者の援助が行なわれ、その中で子ども達が自発的意欲的に遊び、経験を重ねることで、主体的な子ども達の遊びを支える環境づくりの実現を目指す。
- 継続的に異年齢保育に取り組む中で、子育て支援や食育活動、異世代・地域間交流の年次目標を立て、振り返りながらより深化することが大切だと考える。
- 保育園が、子育て支援機能としての家庭や地域のインフラとなるべく努力し、大切な乳幼児期ゆえに、本物の文化、本物の体験に触れさせ、子ども自身が主体的に活動する場を保障することを長期的な目標としていく。
- 園児数の確保
- 2階建て園舎耐震補強工事実施
- 遊戯室建て替えに係る準備、及び 園北側ブロック塀の改修工事
- 児童クラブを含む、幅広い年齢に対応した園庭づくり
- 大規模災害を想定した、防災設備や備蓄の検討
- 職員休憩室増設、事務室改修 フリー事務コーナーや図書整備、更衣室を含む職員休憩室の確保